

令和7年度 国語科 第2学年 年間指導評価計画

作成者 遠山 理世子、秋田 恵美子

観点：Ⅰ（知識・技能）Ⅱ（思考・判断・表現）Ⅲ（主体的に学習に取り組む態度）

月	単元	学習内容	教材名	時数	観点			評価規準
					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	
4	一	詩	見えないだけ	1	○	○	○	詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由とともにまとめている。
4		小説	アイスプラネット	4	○	○	○	章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。
4		話す聞く	意見を聞き、整理して検討する	1	○	○	○	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。
4		文法	文法への扉1	2	○		○	自立語の品詞の種類を知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている。
5		話す聞く	魅力的な提案をしよう	5	○	○	○	重要なことが効果的に伝わるように話の構成を工夫している。
5		古文	枕草子	3	○	○	○	作者のものの見方や考え方を捉えている。
6	二	説明	クマゼミ増加の原因を探る	4	○	○	○	文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。
6		情報	思考の視覚化	1	○	○	○	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。
6		書く	情報を整理して伝えよう	5	○	○	○	収集した情報を分類・整理して自分の目的に合うものを取捨選択している。
6		漢字	熟語の構成	1	○		○	熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。
6	三	短歌	短歌に親しむ、短歌を味わう	5	○	○	○	情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。
6		随筆	言葉の力	2	○	○	○	言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち、話し合っている。
7		言葉	類義語・対義語・多義語	2	○		○	類義語・対義語・多義語の概念について、具体例を当てはめて理解している。
7		硬筆	点画の省略	3	○		○	漢字の行書の書き方（点画の省略）を理解して、読みやすく速く書いている。
7	書写	毛筆	筆順の変化	3	○		○	漢字の行書の書き方（筆順の変化）を理解して、読みやすく速く書いている。
7		情報	デジタル市民として生きる	2	○	○	○	情報の信頼性を判断するために必要なことについてまとめている。
7		読書	読書	1	○	○	○	活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読んでいきたいかを考えている。
7		読書	翻訳作品を読み比べよう	1	○	○	○	二つの翻訳を比較し、表現の違いによる作品の印象の違いについて考えている。
9	四	小説	ヒューマノイド	4	○	○	○	過去と現在、伏線と結末を結び付けて、登場人物の言動の意味を解釈している。
9		随筆	字のない葉書	3	○	○	○	随筆の味わい方について考え、日常の読書に生かせそうな点をまとめている。
9		書く	表現を工夫して書こう	3	○	○	○	自分の思いや考えが伝わるように、具体的な説明を加えたり、表現の工夫をしたりしている。
9		書く	表現の効果を考える	1	○	○	○	読み手の立場に立って手紙を推敲し、考えや思いがより伝わるような表現に書き改めている。
10		言葉	敬語	1	○	○	○	語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。
10		話す聞く	聞き上手になろう	2	○	○	○	話の要旨や展開に注意しながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。
10	書写	漢字	同じ訓・同じ音をもつ漢字	1	○		○	学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。
		毛筆	行書と仮名	3	○		○	行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。
10		論説	モアイは語る	5	○	○	○	文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論理の展開を吟味している。
10		思考	根拠の吟味	1	○	○	○	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。
10	五	書く	適切な根拠を選んで書こう	5	○	○	○	自分の意見が明確に伝わるよう文章の構成を決めたり、段落の順序を検討したりしている。
11		詩	月夜の浜辺	1	○	○	○	詩の中の語句に着目し、詩全体の世界を豊かに想像している。
11		書写	書写	2	○		○	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。
11		古典	平家物語	1	○	○	○	漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。
11	六	古文	扇の的ー「平家物語から」	3	○	○	○	現代語訳や語注などを手がかりに古典に表れたものの見方や考え方を知っている。
12		古文	仁和寺にある法師	3	○	○	○	現代語訳や語注などを手がかりにして読み、作者のものの見方、考え方を理解している。
12		漢詩	漢詩の風景	3	○	○	○	詩の作者の思いを想像し、古人のものの見方、考え方について考えを深めている。
11		評論	君は「最後の晩餐」を知っているか	5	○	○	○	二つの文章を比較し、筆者が文章を書いた意図や目的についての自分の考えを深めている。
12	七	思考	具体と抽象	1	○	○	○	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。
12		話す聞く	話し合いの流れを整理しよう	1	○	○	○	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。
12		文法	文法への扉2	2	○	○	○	用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。
12		話す聞く	立場を尊重して話し合おう	4	○	○	○	適切な根拠となる情報を集め、意見と根拠、理由づけを整理している。
12	書写	毛筆	行書と楷書の調和	3	○		○	目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。
12		毛筆	書き初め	4	○		○	楷書または行書の特徴や配列を理解して書くことができる。
12	読書	読書	「自分らしさ」を認め合う社会へ	1	○	○	○	教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合っている。
1	八	小説	走れメロス	8	○	○	○	登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。
1		文法	文法への扉3	2	○		○	助詞・助動詞の働きや種類について理解し、意味・用法を判別している。
1		書く	描写を工夫して書こう	5	○	○	○	場面や心情を具体的に想像できるように、表現の効果を考えながら描写を工夫している。
2		言葉	話し言葉と書き言葉	2	○		○	それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。
2		漢字	送り仮名	2	○		○	送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。
2		総合	国語の学びを振り返ろう	4	○	○	○	互いの考えを尊重しながら対話し、自分の考えを整理したり、価値づけたりしてまとめている。
2		詩	鍵	2	○	○	○	理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。
3		総合	国語の力だめし	4	○	○	○	今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に生かすことができる。
3	書写	書写	行書を活用しよう	2	○		○	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。
				時数 計	140			